



初期設定ガイド for Android

An-338 / 第 16 版 / 2023 年 12 月 22 日

MOTEX

まえがき	2
第 1 章 導入の流れ	3
第 2 章 かんたんインストール	5
2-1 デバイスを準備する	6
2-2 インストール手順と URL を確認する	7
2-3 デバイスに LANSCOPE クライアントをインストールする	11
2-4 グループを設定する	42
2-5 管理対象デバイスの情報を編集する	48
第 3 章 カスタムインストール	55
3-1 デバイスを準備する	56
3-2 グループを設定する	57
3-3 管理対象デバイスの情報を登録する	63
3-4 インストール手順と URL を確認する	70
3-5 デバイスに LANSCOPE クライアントをインストールする	75
こんなときは	106
LANSCOPE Client を更新する	107
機種変更などでデバイスが変更になった場合	108
トラブルシューティング	109

まえがき

本書は、Android 向けの初期設定方法について説明します。

製品マニュアルラインナップ

各種マニュアルラインナップは、次のとおりです。

マニュアルの種類	説明
初期設定ガイド for iOS/iPadOS	iOS/iPadOS 向けの初期設定手順
初期設定ガイド for Android	Android 向けの初期設定手順
初期設定ガイド for Windows	Windows 向けの初期設定手順
初期設定ガイド for macOS	macOS 向けの初期設定手順
利用ガイド	管理コンソールの操作手順
アンインストールガイド	LANSCOPE クライアントのアンインストール手順

お問い合わせ先

操作方法／トラブル／販売／お取扱いなど

メールまたは電話でお問い合わせください。

https://tryweb2.motex.co.jp/contact/cloud_support.html

商標・著作権

- 本書で使用される各社の社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本書に含まれる文章や画像などの著作権は、一部を除き、エムオーテックス株式会社が所有します。
- 本書のすべてまたは一部をエムオーテックス株式会社の許諾なく複製し、頒布その他の行為を行うことはできません。また、本書の内容・構成をエムオーテックス株式会社の許諾なく改変し、改変したものを複製し、頒布その他の行為を行うことはできません。
- 本ソフトウェアの仕様ならびに本書の記載内容は、予告なしに変更することがあります。
- MOTEX はエムオーテックス株式会社の略称です。

第 1 章 導入の流れ

LANSCOPE エンドポイントマネージャー クラウド版 Free で Android デバイスを管理するために必要なプログラムや利用開始までの流れを説明します。

デバイス管理に必要な LANSCOPE クライアント

Android デバイスを管理するときに利用するプログラムを「LANSCOPE クライアント」と呼びます。

Android デバイスを管理する場合は、次の LANSCOPE クライアントをインストールする必要があります。

名称	概要
LANSCOPE Client 必須	LANSCOPE Client を、Google Play ストアからインストールして登録することで、エンドポイントマネージャー Free で管理できます。 Google Play ストアからインストールするため、各デバイスごとに Google アカウントの設定が必要です。

注意

Android 10 以上のデバイスでは、次の制限事項があります。

- デバイス情報のシリアル/IMEI を取得できません。
- パスワードポリシーを利用できません。
- デバイスを初期化して再登録すると、別デバイスとして登録されます。

インストール方法

「かんたんインストール」と「カスタムインストール」の 2 通りの方法があります。インストール方法により、インストールまでの流れや設定方法が異なります。

	かんたんインストール	カスタムインストール
インストール URL	共通のインストール URL を利用し、デバイス側で LANSCOPE クライアントをインストールする	デバイスごとに異なるインストール URL を利用し、デバイス側で LANSCOPE クライアントをインストールする
デバイス管理情報 (*) の紐づけ	紐づけできない (LANSCOPE クライアントをインストールしたあとに登録)	紐づけできる (LANSCOPE クライアントをインストールする前に登録)
メリット	共通のインストール URL を利用するため、簡単にインストールできる	インストール完了後、デバイス使用者の情報と紐づくため、整理された状態で管理できる

	かんたんインストール	カスタムインストール
デメリット	デバイス使用者の情報と紐づけできないため、あとで登録する必要がある	<ul style="list-style-type: none">• 事前にデバイス管理情報を登録する必要がある• メールを利用できないデバイス使用者がインストールする場合、デバイス使用者へのインストール URL を通知する方法を検討する必要がある

* : デバイス管理情報は、[リスト] > [デバイス] > 「デバイス詳細」画面で、管理者が任意に編集できる項目のことです。

第2章 かんたんインストール

かんたんインストール（共通のインストール URL）を利用し、LANSCOPE クライアントをインストールします。

1. [2-1 デバイスを準備する](#) **必須**

デバイスを管理するために、必要な設定があります。必要に応じて、デバイス側で設定します。

2. [2-2 インストール手順と URL を確認する](#) **必須**

LANSCOPE クライアントのインストール手順と、インストールに必要な URL を確認します。

3. [2-3 デバイ스에 LANSCOPE クライアントをインストールする](#) **必須**

デバイスごとに LANSCOPE クライアントをインストールします。

4. [2-4 グループを設定する](#)

デバイスの情報を編集するとき、グループを設定できます。設定するには、事前にグループを作成します。

5. [2-5 管理対象デバイスの情報を編集する](#)

「デバイス管理名」と「使用者名」を、デバイスを特定できる名前に編集します。

2-1 デバイスを準備する

必須

デバイスを管理するために、必要な設定があります。必要に応じて、デバイス側で設定します。

Google アカウントの設定

LANSCOPE Client のインストールには Google アカウントが必要です。事前に設定してください。

省電力に関する設定

デバイスによっては、省電力に関する機能がデバイス独自に搭載されていることがあります。省電力に関する機能が有効の場合、LANSCOPE Client が正常に動作しないことがあります。

バッテリーセーバーの設定

バッテリーセーバーが有効の場合、エンドポイントマネージャー Free で正常に管理できません。次の設定を無効にしてください。

1. [設定] アプリの [電池] をクリックします。
2. 「バッテリーセーバー」をオフにします。

→電池残量が一定値を下回った場合に、バッテリーセーバーを有効にするか確認メッセージが表示されますが、バッテリーセーバーは有効にしないでください。

2-2 インストール手順と URL を確認する

必須

LANSCOPE クライアントのインストール手順と、インストールに必要な URL を確認します。

1. [リスト] の [デバイス] をクリックします。



2. [デバイスの追加] をクリックします。

管理	デバイスグループ	デバイス管理名	使用人名	OSタイプ	電話番号	デバイスタイプ	
<input type="checkbox"/>	1	総務課	SC-03D_0000000014	江藤 花子	Android	090xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	2	総務課	hammerhead_0000000059	六角 富夫	Android	090xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	3	営業1課	iPhone_0000000028	飯田 育三	iOS	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	4	人事課	N-64C_0000000020	江村 太郎	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	5	営業部	EB-A71GJ_0000000019	橋中 栄一郎	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	6	営業部	L-22D_0000000016	内田 健太	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	7	営業1課	404KC_0000000023	中田 真由美	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	8	営業1課	picasso_asapustjp_00000000...	橋 秀雄	Android	090xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	9	総務課	iPhone_0000000026	森 太郎	iOS	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	10	営業1課	iPhone_0000000029	別所 哲郎	iOS	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	11	営業1課	Surface Pro 5_0000000044	吉田 勝平	Windows	090xxxxxxxx	ノート
<input type="checkbox"/>	12	営業1課	Surface Pro 5_0000000045	加藤 信也	Windows	090xxxxxxxx	ノート
<input type="checkbox"/>	13	営業1課	404KC_0000000023	石井 健二	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	14	営業2課	404KC_0000000018	平尾 晋作	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	15	営業2課	404KC_0000000007	佐藤 理恵子	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	16	営業部	iPhone_0000000020	伊藤 拓	iOS	080xxxxxxxx	スマートフォン

3. [かんたんインストール] をクリックします。



4. [Android] をクリックし、手順とインストール URL/デバイス登録 URL を確認します。

iOS **Android** Windows macOS

Android デバイスに LANSCOPE Client をインストールする

詳細手順については、以下のマニュアルをご確認ください。
[マニュアル](#)

▲ Android 10 以降のデバイスを登録した場合、パスワードポリシー設定が利用できないなどの制限があります。

- 1 LANSCOPE Client をインストール**

Google Play から LANSCOPE Client をインストールします。

LANSCOPE Client インストール URL



<https://play.google.com/store/apps/details?id=>

[URLをコピー](#)

(Google Play で「LANSCOPE Client」を検索して、インストールすることもできます)
- 2 登録URLをタップ**

登録URLをデバイスからタップしてください。

デバイス登録 URL



<https://api.android.clients.lanscopean-orange>

[URLをコピー](#)

LANSCOPE Client を起動し、登録開始ダイアログが表示されます。[OK] をクリックします。
- 3 デバイス上で設定を行う**

本設定は、OS のバージョンによって手順が異なります。
設定手順については、以下のマニュアルをご確認ください。
[マニュアル](#)

登録完了
インストールが完了すると LANSCOPE でデバイスを管理できるようになります。
※ インストール完了後、反映まで時間がかかる場合があります。
[デバイス一覧](#)

対象 OS はこちらをご確認ください。
[動作確認OS一覧](#)

- 管理者が LANSCOPE クライアントをインストールするなど、手元にデバイスがある場合画面に表示されている QR コードを読み取ってアクセスできます。
- 手元にデバイスがない場合や、デバイス利用者が LANSCOPE クライアントをインストールする場合

URL をコピーし、メールで通知したり、ファイルサーバーやポータルサイトなどにアップしたりして、デバイスからアクセスできるようにします。

2-3 デバイスに LANSCOPE クライアントをインストールする

必須

デバイスごとに LANSCOPE クライアントをインストールします。

ステップ：

1. [LANSCOPE Client をインストールする](#)
2. [LANSCOPE Client を登録する](#)

ステップ 1： LANSCOPE Client をインストールする

機種や OS バージョンにより、画面や手順が異なる場合があります。

1. LANSCOPE Client のインストール URL にアクセスします。

→ Google Play ストアの LANSCOPE Client の画面が表示されます。

2. [インストール] をタップします。



→ Google アカウントの入力を求められた場合は、Google アカウントを入力します。

ホーム画面に「LANSCOPE Client」が表示されます。

ステップ2： LANSCOPE Client を登録する

機種やOSバージョンにより、画面や手順が異なる場合があります。

Android 14 以上の場合

ここでは、Android 14 を例に説明します。

1. デバイス登録 URL にアクセスします。
2. **【同意する】** をタップします。



3. **【設定する】** をタップします。



4. 次の情報へのアクセス確認で、すべて [許可] をタップします。

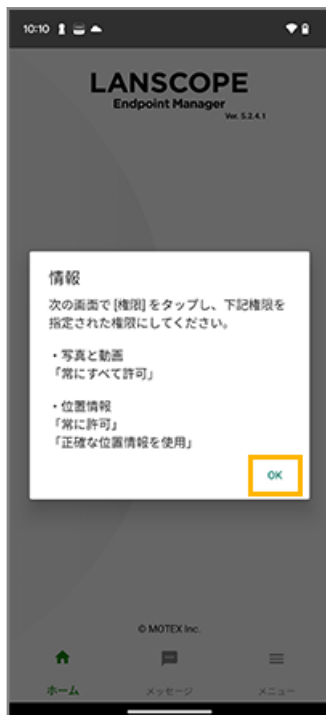
- 通話履歴
- 電話
- 連絡先
- Bluetooth
- 通知



5. **【設定する】** をタップします。



6. **【OK】** をタップします。



7. **【権限】** をタップします。



8. [位置情報] をタップします。



9. [常に許可] をタップします。

[正確な位置情報を使用] がオフになっている場合、オンにします。



10. [写真と動画] をタップします。



11. [常にすべて許可] をタップします。

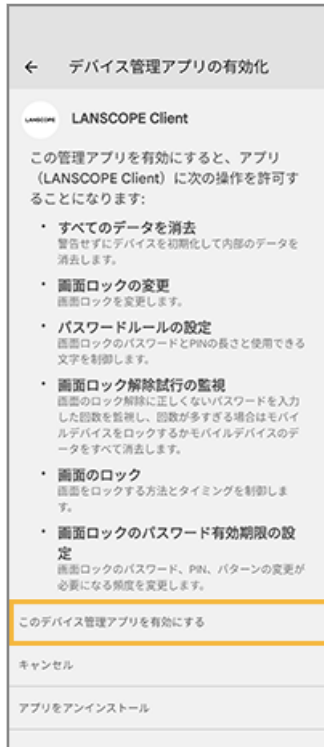


→ 登録結果のメッセージが表示されます。

12. [閉じる] をタップします。



13. [このデバイス管理アプリを有効にする] をタップします。



14. 「使用履歴へのアクセス」をタップします。



15. 「LANSCOPE Client」をタップし、「使用状況へのアクセスを許可」をオンにします。



16. [ユーザー補助] をタップします。



17. [LANSCOPE Client サービスを使用] をオンにします。



18. [許可] をタップします。



19. [電池の最適化 例外設定] をタップし、[許可] をタップします。



20. 必要な設定がすべて「有効」になっていることを確認し、アプリを閉じます。

無効になっている設定がある場合は、項目をタップして有効に設定します。



表示される項目は、管理コンソールの設定、デバイスの OS バージョンにより異なります。

デバイス管理者

すべてのデバイスに表示されます。

使用履歴へのアクセス

すべてのデバイスに表示されます。

ユーザー補助

次のいずれかにあてはまるデバイスに表示されます。

- Android 8 以上
- Android 7 以上で、管理コンソールの [ルール] > [デバイス設定] > [基本設定] で [マルチユーザー機能の利用を禁止する] を設定している

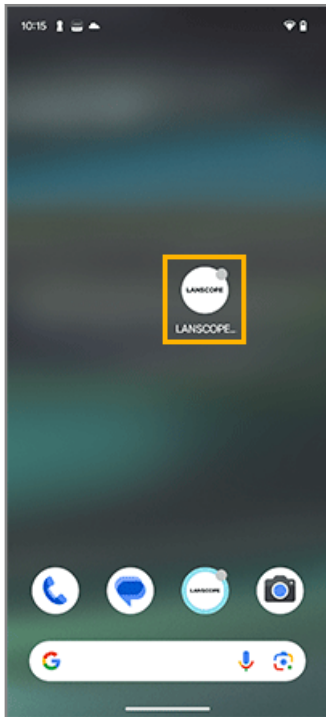
アクセス設定

すべてのデバイスに表示されます。

電池の最適化 例外設定

すべてのデバイスに表示されます。

21. ホーム画面の [LANSCOPE Free] をタップします。



22. バージョン情報に「会社名」「管理 No.」が表示されていることを確認します。



→ LANSCOPE Client の登録が完了します。

Android 10 以上 Android 14 未満の場合

ここでは、Android 11 を例に説明します。

1. **デバイス登録 URL にアクセスします。**
2. **【同意する】をタップします。**



3. [設定する] をタップします。



4. 次の情報へのアクセス確認で、すべて [許可] をタップします。

- ストレージ
- 通話履歴
- 電話

- 連絡先



5. [設定する] をタップします。



6. [OK] をタップします。



7. [権限] をタップします。



8. [位置情報] をタップします。



9. [常に許可] をタップします。

Android 12 以上の場合

[正確な位置情報を使用] がオフになっている場合、オンにします。



Android 11/10 の場合



→ 登録結果のメッセージが表示されます。

10. [閉じる] をタップします。



11. [このデバイス管理アプリを有効にする] をタップします。



12. [使用履歴へのアクセス] をタップします。



13. [LANSOPE Client] をタップし、[使用状況へのアクセスを許可] をオンにします。



14. [ユーザー補助] をタップします。



15. [LANSCOPE Client サービスを使用] をオンにします。



16. [許可] をタップします。



17. [電池の最適化 例外設定] をタップし、[許可] をタップします。



18. 必要な設定がすべて「有効」になっていることを確認し、アプリを閉じます。

無効になっている設定がある場合は、項目をタップして有効に設定します。



表示される項目は、管理コンソールの設定、デバイスの OS バージョンにより異なります。

デバイス管理者

すべてのデバイスに表示されます。

使用履歴へのアクセス

すべてのデバイスに表示されます。

ユーザー補助

次のいずれかにあてはまるデバイスに表示されます。

- Android 8 以上
- Android 7 以上で、管理コンソールの [ルール] > [デバイス設定] > [基本設定] で [マルチユーザー機能の利用を禁止する] を設定している

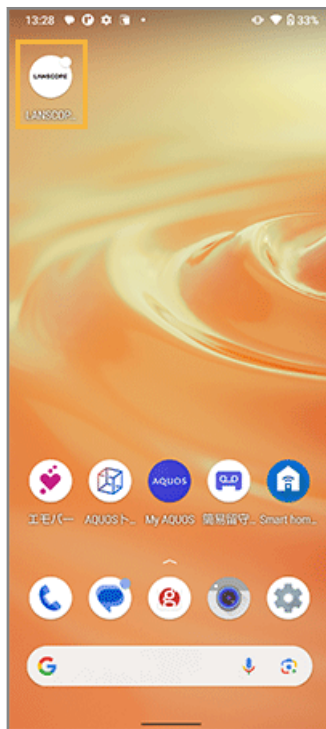
アクセス設定

すべてのデバイスに表示されます。

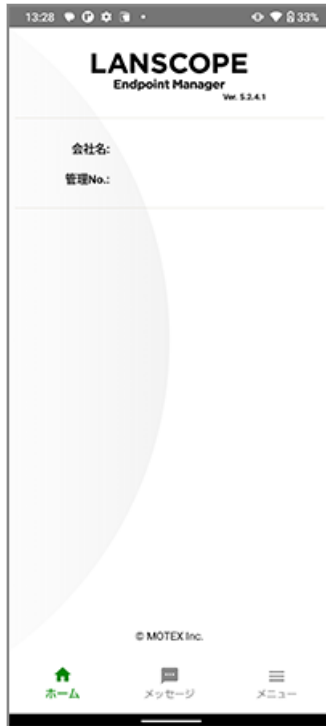
電池の最適化 例外設定

すべてのデバイスに表示されます。

19. ホーム画面の [LANSCOPE Free] をタップします。



20. バージョン情報に「会社名」「管理 No.」が表示されていることを確認します。

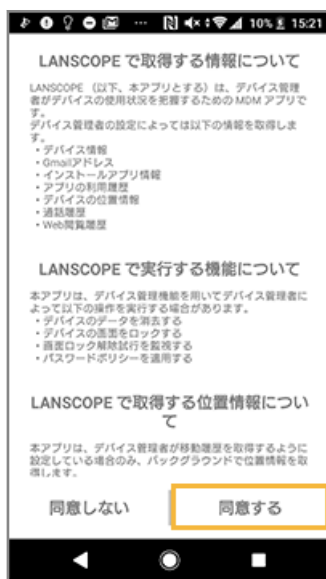


→ LANSCOPE Client の登録が完了します。

Android 10 未満の場合

ここでは、Android 8 を例に説明します。

1. デバイス登録 URL にアクセスします。
2. [同意する] をタップします。



3. [設定する] をタップします。



4. 次の情報へのアクセス確認で、すべて【許可】をタップします。

- ストレージ
- 電話
- 連絡先
- 位置情報

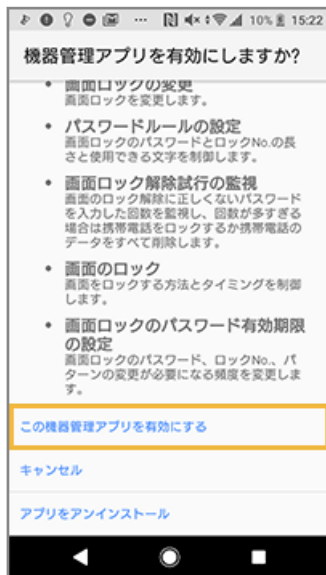


→ 登録結果のメッセージが表示されます。

5. 【閉じる】をタップします。



6. 「この機器管理アプリを有効にする」をタップします。



7. 「使用履歴へのアクセス」をタップします。



8. [LANSCOPE Client] をタップし、[使用状況へのアクセスを許可] をオンにします。



9. [ユーザー補助] をタップします。



10. [LANSCOPE Client サービス] をタップします。



11. LANSCOPE Client サービスをオンにし、[OK] をタップします。



12. [許可] をタップします。



13. [電池の最適化 例外設定] をタップし、[許可] をタップします。



14. 必要な設定がすべて「有効」になっていることを確認し、アプリを閉じます。

無効になっている設定がある場合は、項目をタップして有効に設定します。



表示される項目は、管理コンソールの設定、デバイスの OS バージョンにより異なります。

デバイス管理者

すべてのデバイスに表示されます。

使用履歴へのアクセス

すべてのデバイスに表示されます。

ユーザー補助

次のいずれかにあてはまるデバイスに表示されます。

- Android 8 以上

- Android 7 以上で、管理コンソールの [ルール] > [デバイス設定] > [基本設定] で [マルチユーザー機能の利用を禁止する] を設定している

アクセス設定

すべてのデバイスに表示されます。

電池の最適化 例外設定

すべてのデバイスに表示されます。

15. ホーム画面の [LANSCOPE Free] をタップします。



16. バージョン情報に「会社名」「管理 No.」が表示されていることを確認します。



→ LANSCOPE Client の登録が完了します。

2-4 グループを設定する

デバイスの情報を編集するとき、グループを設定できます。設定するには、事前にグループを作成します。グループは5階層まで作成できます。

■ グループを手動で設定する

1. [ルール] の [デバイス設定] > [デバイスグループ設定] をクリックします。



2. 設定するデバイスグループの上位階層のデバイスグループをクリックし、[追加] をクリックします。



→ 選択した階層の下に「新しいデバイスグループ」が追加されます。

3. 「新しいデバイスグループ」をダブルクリックし、「デバイスグループ名」と「グループコード」を入力します。

注意

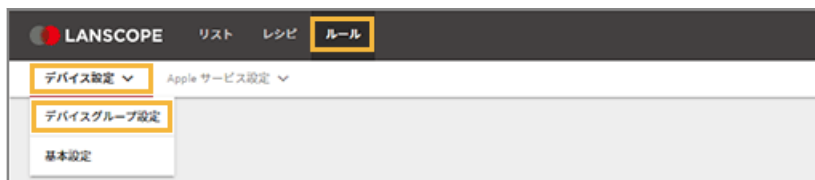
- グループコードには、一意の値を入力してください。
- 入力できる文字の種類に制限はありません（英字／数字／漢字／ひらがな／カタカナ可）。
- 入力できる文字数は、100文字以内です。



4. [保存] をクリックします。

■ グループを一括で設定する

1. [ルール] の [デバイス設定] > [デバイスグループ設定] をクリックします。



2.  をクリックし、[エクスポート] をクリックします。



→ CSV ファイルがエクスポートされます。

3. エクスポートしたファイルを編集し、インポートファイルを作成します。

- 「グループ名」「グループコード」「上位グループコード」を入力します。
- 「上位グループコード」が未記入の場合、1 階層目に設定されます。

注意

- グループコードには、一意の値を入力してください。
- 入力できる文字の種類に制限はありません（英字／数字／漢字／ひらがな／カタカナ可）。
- 入力できる文字数は、100 文字以内です。

4. をクリックし、[インポート] をクリックします。



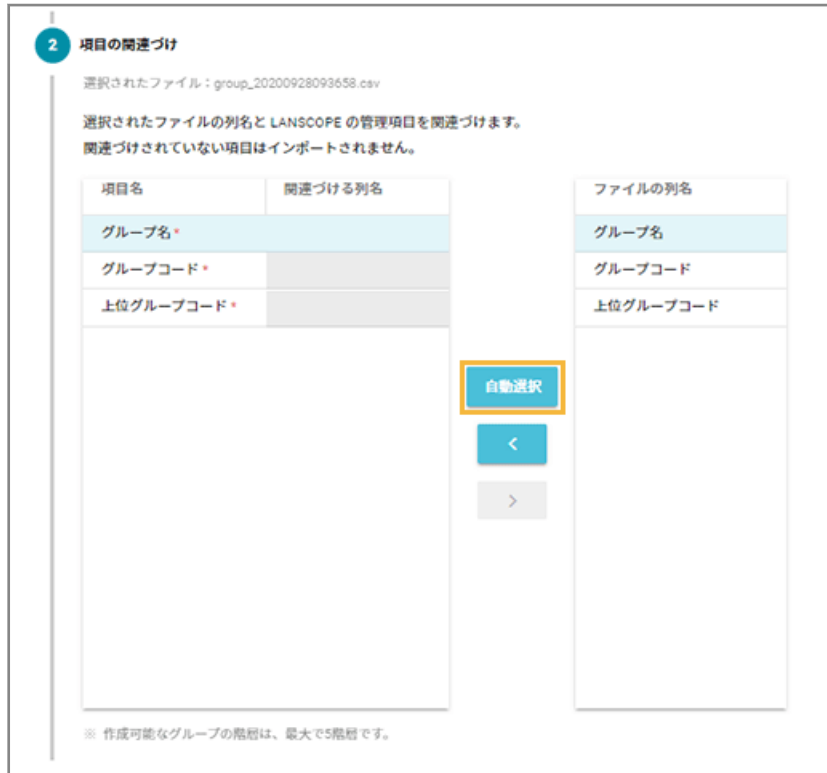
5. 管理コンソールに記載の手順に従って、インポートします。

(1) [ファイルを選択] をクリックし、作成したインポートファイルを選択します。

ファイルの内容が正しく読み込まれない場合は、エンコードを確認します。



(2) [自動選択] をクリックします。



→ 「関連づける列名」が自動的に選択されます。

「項目名」と「ファイルの列名」の項目が一致していないと自動的に選択されません。その場合は、対応する項目を1つずつ紐づけます。

- (3) インポートファイルに記載されていないグループを管理コンソールから削除する場合は、チェックします。



- (4) [インポート] をクリックします。

→ インポートが完了します。

6. 内容を確認し、[保存] をクリックします。



2-5 管理対象デバイスの情報を編集する

「デバイス管理名」と「使用者名」を、デバイスを特定できる名前に編集します。

ポイント

管理コンソール上で特定デバイスを表示する場合、おもに「デバイス管理名」と「使用者名」を利用します。そのため、「デバイス管理名」と「使用者名」は、デバイスを特定できる値での登録をおすすめします。

LANSCOPE Client をインストールすると、自動で「デバイス管理名」が登録されます。

Android デバイスは、デバイスの機種名で登録されます。LANSCOPE Client のインストール時に機種名が取得できなかった場合は、「Android」で登録されます。

■ デバイス情報を 1 台ずつ編集する

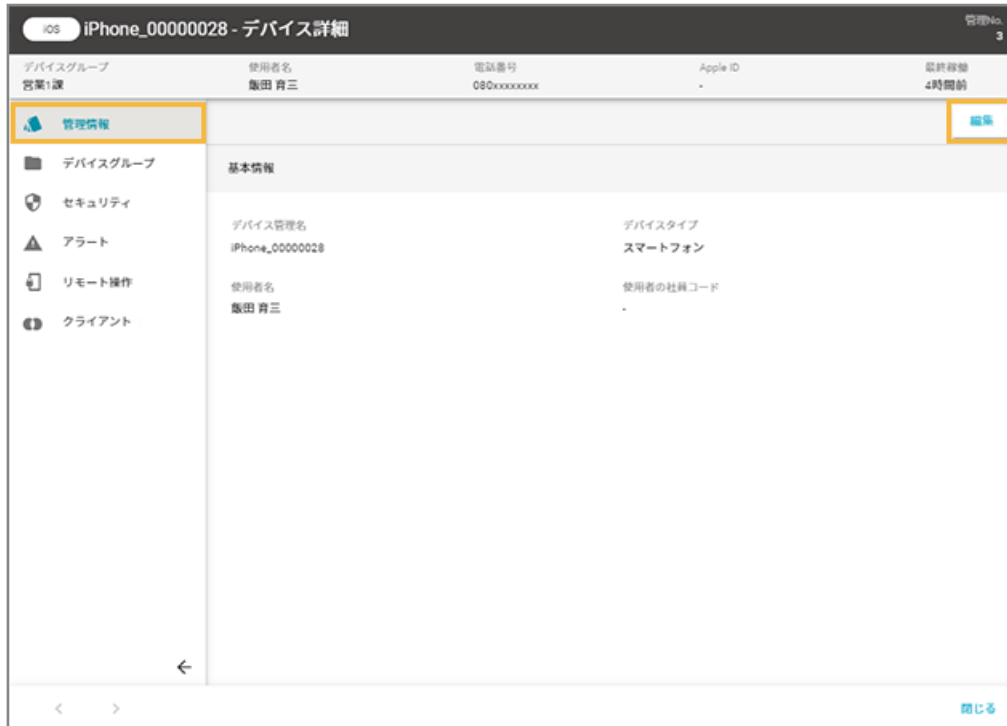
1. [リスト] の [デバイス] をクリックします。



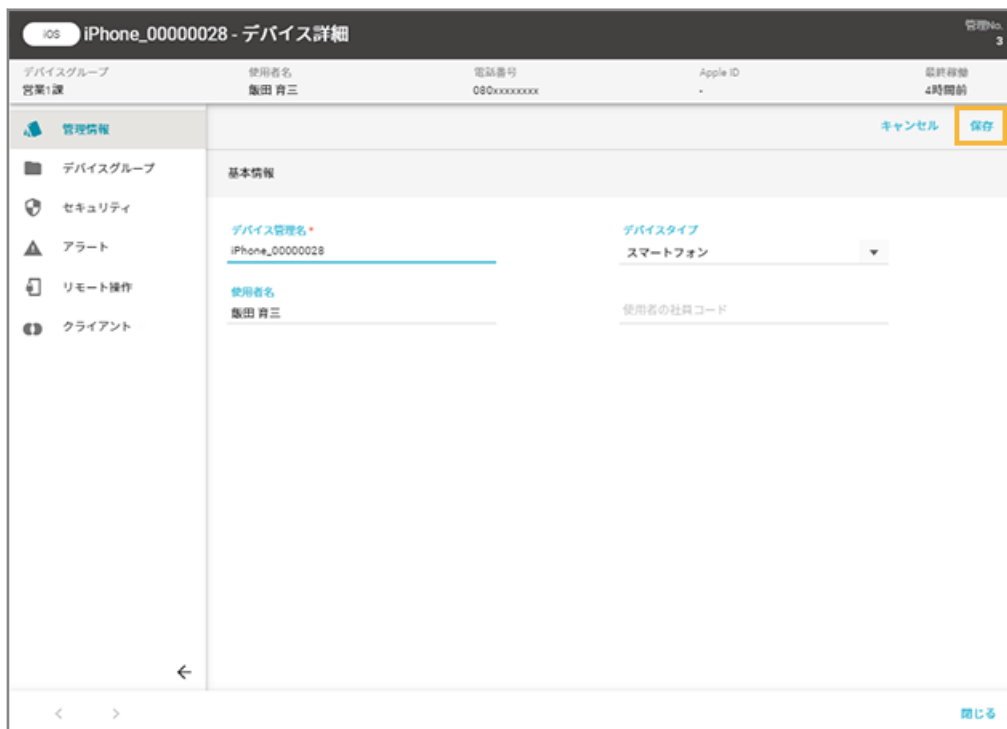
2. デバイスをクリックします。

<input type="checkbox"/>	↑管理...	デバイスグループ	デバイス管理名	使用者名	OSタイプ	電話番号	デバイス...
<input type="checkbox"/>	1	総務課	SC-03D_0000000014	江藤 花子	Android	090xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	2	総務課	hammerhead_0000000059	六角 富夫	Android	090xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	3	営業1課	iPhone_000000028	飯田 晋三	iOS	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	4	人事課	N-04C_0000000020	江村 太郎	Android	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	5	営業部	EB-A71GJ_0000000019	橋中 栄一郎	Android	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	6	営業部	L-22D_0000000016	内田 健太	Android	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	7	営業1課	404KC_0000000023	中田 真由美	Android	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	8	営業1課	picaso_aapus6jp_0000000...	横 秀雄	Android	090xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	9	総務課	iPhone_000000026	森 太郎	iOS	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	10	営業1課	iPhone_000000029	別所 哲郎	iOS	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	11	営業1課	Surface Pro 5_0000000044	吉田 勝平	Windows	090xxxxxxxx	ノート
<input type="checkbox"/>	12	営業1課	Surface Pro 5_0000000045	加藤 信也	Windows	090xxxxxxxx	ノート
<input type="checkbox"/>	13	営業1課	404KC_0000000023	石井 健二	Android	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	14	営業2課	404KC_0000000018	平尾 晋作	Android	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	15	営業2課	404KC_0000000007	佐藤 理恵子	Android	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	16	営業部	iPhone_00000000...	佐藤 拓	iOS	080xxxxxxxx	スマートフ...

3. [管理情報] の [編集] をクリックします。



4. 内容を編集し、[保存] をクリックします。



■ デバイス情報を一括で編集する

デバイス情報をエクスポートし、CSV ファイルを編集して、インポートできます。

ステップ：

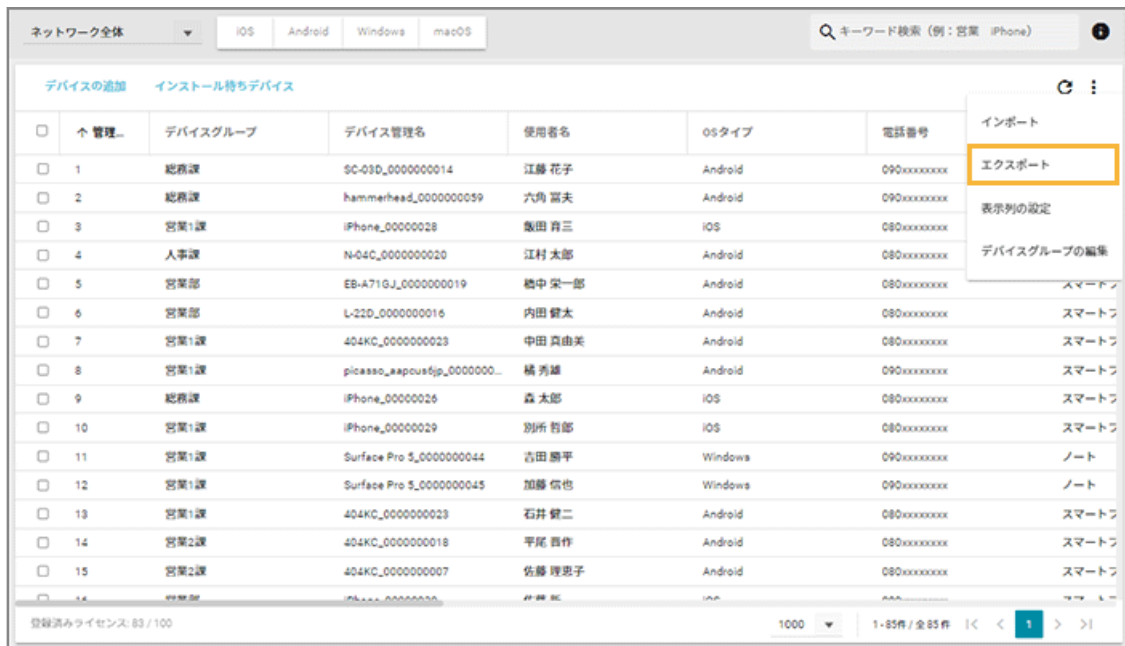
1. [デバイス情報をエクスポートする](#)
2. [エクスポートしたファイルを編集する](#)
3. [編集したデバイス情報をインポートする](#)

ステップ 1： デバイス情報をエクスポートする

1. [リスト] の [デバイス] をクリックします。



2.  をクリックし、[エクスポート] をクリックします。



3. 管理コンソールに記載の手順に従って設定し、[ダウンロード] をクリックします。



ポイント

エクスポートする項目で、共通の「管理 No.」とデバイス情報の「OS タイプ」は、インポート時にデバイスを紐づけるため、必須項目としてあらかじめチェックされています。

→ CSV ファイルがエクスポートされます。

4. [閉じる] をクリックします。

ステップ 2： エクスポートしたファイルを編集する

ポイント

- インポートできるデバイス情報は、「管理情報」と「デバイスグループ」の項目です。
- 「デバイスグループ階層 1」には、ネットワーク全体配下のデバイスグループを入力してください。「デバイスグループ階層 1」が未入力の場合は、自動的にネットワーク全体になります。

注意

- 「管理 No.」と「OS タイプ」は、インポート時にデバイスの紐づけが必要なため、編集しないでください。
- 項目によっては入力値に制限があります。制限値以外の入力がある場合、インポートに失敗します。

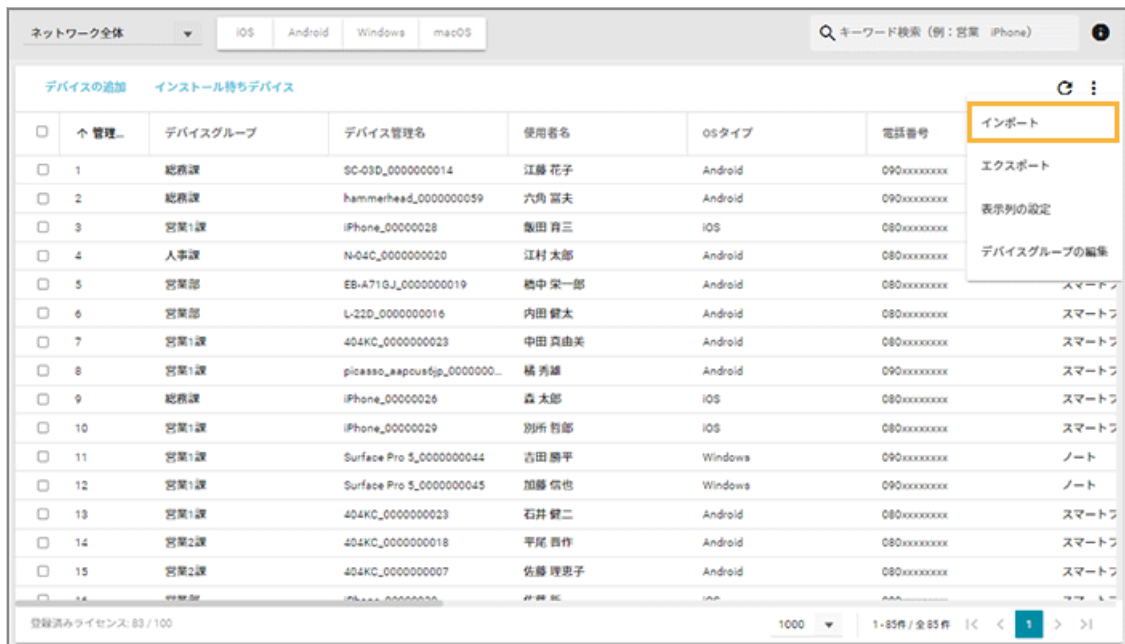
1. 各デバイスの情報を編集し、上書き保存します。

ステップ 3： 編集したデバイス情報をインポートする

1. [リスト] の [デバイス] をクリックします。



2.  をクリックし、[インポート] をクリックします。



3. 管理コンソールに記載の手順に従って、インポートします。

(1) [ファイルを選択] をクリックし、編集したインポートファイルを選択します。

ファイルの内容が正しく読み込まれない場合は、エンコードを確認します。



(2) [自動選択] をクリックします。



→ 「関連づける列名」が自動的に選択されます。

「項目名」と「ファイルの列名」の項目が一致していないと自動的に選択されません。その場合は、対応する項目を1つずつ紐づけます。

(3) プレビューを確認し、[インポート] をクリックします。

プレビュー

管理No.	OSタイプ	デバイス管理名	デバイ
32	WINDOWS	Surface 3_0000000056	LAPTC
31	WINDOWS	Surface 3_0000000057	LAPTC
30	ANDROID	404KC_0000000029	MOBIL
29	MAC	MacBook_0000000064	DESKT
28	MAC	MacBook_0000000066	DESKT

[インポート](#)

→ 「インポート完了」画面が表示されます。

インポートが完了しました。

インポート件数： ■件

※ データが反映されるまでに少しお時間がかかる場合があります。

[デバイス一覧](#)

[インポートに戻る](#)

[デバイス一覧] をクリックすると、インポートしたデータを確認できます。

第3章 カスタムインストール

カスタムインストール（デバイスごとに異なるインストール URL）を利用し、LANSCOPE クライアントをインストールします。

1. **3-1 デバイスを準備する** 必須

デバイスを管理するために、必要な設定があります。必要に応じて、デバイス側で設定します。

2. **3-2 グループを設定する**

事前にグループ設定をしておくこと、設定したグループの配下に LANSCOPE クライアントをインストールしたデバイスが配置されます。

3. **3-3 管理対象デバイスの情報を登録する**

デバイスを紐づけるための情報を登録します。

4. **3-4 インストール手順と URL を確認する** 必須

LANSCOPE クライアントのインストール手順と、インストールに必要な URL を確認します。

5. **3-5 デバイスに LANSCOPE クライアントをインストールする** 必須

デバイスごとに LANSCOPE クライアントをインストールします。

3-1 デバイスを準備する

必須

デバイスを管理するために、必要な設定があります。必要に応じて、デバイス側で設定します。

Google アカウントの設定

LANSCOPE Client のインストールには Google アカウントが必要です。事前に設定してください。

省電力に関する設定

デバイスによっては、省電力に関する機能がデバイス独自に搭載されていることがあります。省電力に関する機能が有効の場合、LANSCOPE Client が正常に動作しないことがあります。

バッテリーセーバーの設定

バッテリーセーバーが有効の場合、エンドポイントマネージャー Free で正常に管理できません。次の設定を無効にしてください。

1. [設定] アプリの [電池] をクリックします。
2. 「バッテリーセーバー」をオフにします。

→電池残量が一定値を下回った場合に、バッテリーセーバーを有効にするか確認メッセージが表示されますが、バッテリーセーバーは有効にしないでください。

3-2 グループを設定する

事前にグループ設定をしておくことで、設定したグループの配下に LANSCOPE クライアントをインストールしたデバイスが配置されます。

グループは5階層まで作成できます。

設定方法は次のとおりです。

■ グループを手動で設定する

1. [ルール] の [デバイス設定] > [デバイスグループ設定] をクリックします。



2. 設定するデバイスグループの上位階層のデバイスグループをクリックし、[追加] をクリックします。



→ 選択した階層の下に「新しいデバイスグループ」が追加されます。

3. 「新しいデバイスグループ」をダブルクリックし、「デバイスグループ名」と「グループコード」を入力します。

注意

- グループコードには、一意の値を入力してください。
- 入力できる文字の種類に制限はありません（英字／数字／漢字／ひらがな／カタカナ可）。
- 入力できる文字数は、100文字以内です。



4. [保存] をクリックします。

■ グループを一括で設定する

1. [ルール] の [デバイス設定] > [デバイスグループ設定] をクリックします。



2.  をクリックし、[エクスポート] をクリックします。



→ CSV ファイルがエクスポートされます。

3. エクスポートしたファイルを編集し、インポートファイルを作成します。

- 「グループ名」「グループコード」「上位グループコード」を入力します。
- 「上位グループコード」が未記入の場合、1 階層目に設定されます。

注意

- グループコードには、一意の値を入力してください。
- 入力できる文字の種類に制限はありません（英字／数字／漢字／ひらがな／カタカナ可）。
- 入力できる文字数は、100 文字以内です。

4.  をクリックし、[インポート] をクリックします。



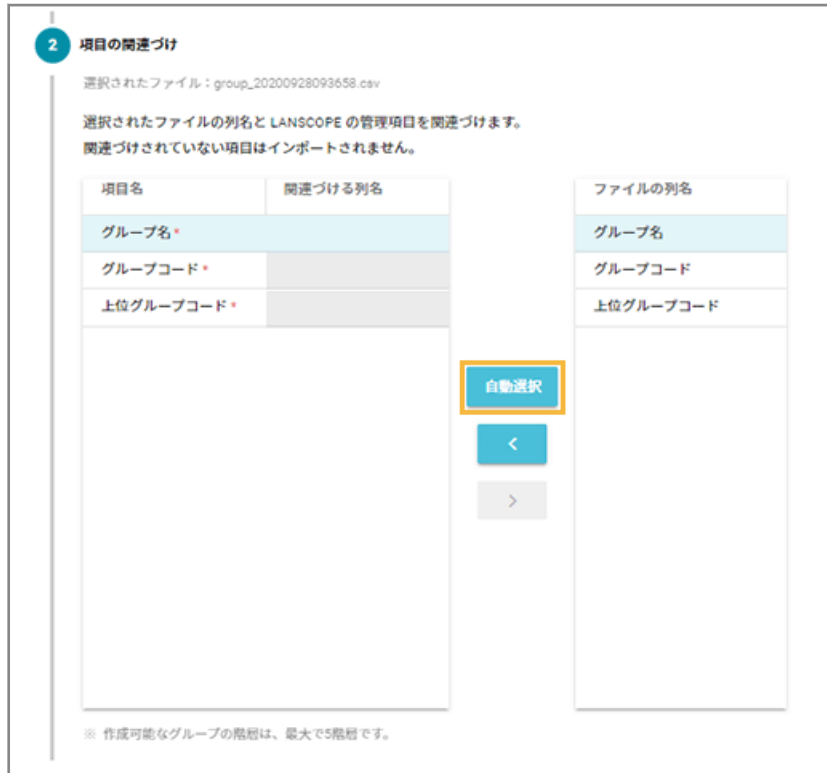
5. 管理コンソールに記載の手順に従って、インポートします。

(1) [ファイルを選択] をクリックし、作成したインポートファイルを選択します。

ファイルの内容が正しく読み込まれない場合は、エンコードを確認します。



(2) [自動選択] をクリックします。



→ 「関連づける列名」が自動的に選択されます。

「項目名」と「ファイルの列名」の項目が一致していないと自動的に選択されません。その場合は、対応する項目を1つずつ紐づけます。

- (3) インポートファイルに記載されていないグループを管理コンソールから削除する場合は、チェックします。



- (4) [インポート] をクリックします。

→ インポートが完了します。

6. 内容を確認し、[保存] をクリックします。



3-3 管理対象デバイスの情報を登録する

デバイスを紐づけるための情報を登録します。

■ デバイス情報を1台ずつ追加する

1. [リスト] の [デバイス] をクリックします。



2. [デバイスの追加] をクリックします。

<input type="checkbox"/>	↑ 管理...	デバイスグループ	デバイス管理名	使用者名	OSタイプ	電話番号	デバイスタ...
<input type="checkbox"/>	1	総務課	SC-03D_0000000014	江藤 花子	Android	090xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	2	総務課	hammerhead_0000000059	六角 富夫	Android	090xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	3	営業1課	iPhone_000000028	飯田 育三	iOS	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	4	人事課	N-04C_0000000020	江村 太郎	Android	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	5	営業部	EB-A71GJ_0000000019	橋中 栄一郎	Android	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	6	営業部	L-22D_0000000016	内田 健太	Android	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	7	営業1課	404KC_0000000023	中田 真由美	Android	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	8	営業1課	picasso_aapostfp_0000000...	橋 秀雄	Android	090xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	9	総務課	iPhone_000000026	森 太郎	iOS	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	10	営業1課	iPhone_000000029	別所 哲郎	iOS	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	11	営業1課	Surface Pro 5_0000000044	吉田 勝平	Windows	090xxxxxxxx	ノート
<input type="checkbox"/>	12	営業1課	Surface Pro 5_0000000045	加藤 信也	Windows	090xxxxxxxx	ノート
<input type="checkbox"/>	13	営業1課	404KC_0000000023	石井 健二	Android	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	14	営業2課	404KC_0000000018	平尾 晋作	Android	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	15	営業2課	404KC_0000000007	佐藤 理恵子	Android	080xxxxxxxx	スマートフ...
<input type="checkbox"/>	16	営業部	iPhone_000000020	伊藤 拓	iOS	080xxxxxxxx	スマートフ...

3. [カスタムインストール] をクリックします。



4. デバイスの情報を入力し、[追加] をクリックします。

項目	値
OS タイプ	対象デバイスの OS
デバイスグループ	所属するデバイスグループ 事前に設定しておいたグループを指定します。
デバイス管理名	デバイスを特定できる任意のデバイス管理名
使用者名	デバイスを特定できる任意の使用者名
送信先メールアドレス	デバイスのメールアドレス 管理コンソールからインストールの手順と URL をデバイスにメール通知するときが必要です。

表示される内容は OS タイプによって異なります。

管理対象デバイスの情報追加

一台ずつ追加 一括インポート追加

カスタムインストール手順は以下をご確認ください。

iOS Android Windows macOS

デバイス情報を追加します。

OSタイプ
 iOS Android Windows macOS

デバイスグループ
ネットワーク全体

デバイス管理名
MO 太郎

使用者名

使用者の社員コード

デバイスタイプ
スマートフォン

送信先メールアドレス

キャンセル 追加

→ 「登録が完了しました。」と表示されたら、デバイスの追加が完了します。

管理対象デバイスの情報追加

一台ずつ追加 一括インポート追加

カスタムインストール手順は以下をご確認ください。

iOS Android Windows macOS

登録が完了しました。

デバイス管理名：MO 太郎
インストール待ちデバイスとして追加されました。

※ データが反映されるまでに少しお時間がかかる場合があります。

インストール待ちデバイス一覧

続けて登録

続けて追加する場合は、[続けて登録] をクリックします。[インストール待ちデバイス一覧] をクリックすると、追加したデバイスの情報を確認できます。

■ デバイス情報を一括で追加する

1. [リスト] の [デバイス] をクリックします。



2. [デバイスの追加] をクリックします。

ネットワーク全体 | iOS | Android | Windows | macOS | キーワード検索 (例: 営業 iPhone)

デバイスの追加 | インストール待ちデバイス

管理	デバイスグループ	デバイス管理名	使用人名	OSタイプ	電話番号	デバイス	
<input type="checkbox"/>	1	総務課	SC-03D_0000000014	江藤 花子	Android	090xxxxxxxx	スマートフ
<input type="checkbox"/>	2	総務課	hammerhead_0000000059	六角 富夫	Android	090xxxxxxxx	スマートフ
<input type="checkbox"/>	3	営業1課	iPhone_000000028	飯田 育三	iOS	080xxxxxxxx	スマートフ
<input type="checkbox"/>	4	人事課	N-04C_0000000020	江村 太郎	Android	080xxxxxxxx	スマートフ
<input type="checkbox"/>	5	営業部	EB-A71GJ_0000000019	橋中 栄一郎	Android	080xxxxxxxx	スマートフ
<input type="checkbox"/>	6	営業部	L-22D_0000000016	内田 健太	Android	080xxxxxxxx	スマートフ
<input type="checkbox"/>	7	営業1課	404KC_0000000023	中田 真由美	Android	080xxxxxxxx	スマートフ
<input type="checkbox"/>	8	営業1課	picasso_aapovstjp_0000000...	横 秀雄	Android	090xxxxxxxx	スマートフ
<input type="checkbox"/>	9	総務課	iPhone_000000026	森 太郎	iOS	080xxxxxxxx	スマートフ
<input type="checkbox"/>	10	営業1課	iPhone_000000029	別所 哲郎	iOS	080xxxxxxxx	スマートフ
<input type="checkbox"/>	11	営業1課	Surface Pro 3_0000000044	吉田 勝平	Windows	090xxxxxxxx	ノート
<input type="checkbox"/>	12	営業1課	Surface Pro 5_0000000045	加藤 信也	Windows	090xxxxxxxx	ノート
<input type="checkbox"/>	13	営業1課	404KC_0000000023	石井 健二	Android	080xxxxxxxx	スマートフ
<input type="checkbox"/>	14	営業2課	404KC_0000000018	平尾 晋作	Android	080xxxxxxxx	スマートフ
<input type="checkbox"/>	15	営業2課	404KC_0000000007	佐藤 理恵子	Android	080xxxxxxxx	スマートフ
<input type="checkbox"/>	16	営業部	iPhone_000000030	伊藤 隆	iOS	080xxxxxxxx	スマートフ

登録済みライセンス: 83 / 100 | 1000 | 1-85件 / 全 85 件 | < > 1 >

3. [カスタムインストール] をクリックします。

← デバイス追加

LANSCOPE で管理したいデバイスを追加する

LANSCOPE クライアントのインストール方法を以下より選択してください。

かんたんインストール

すべてのデバイスに同じ URL を用いて、LANSCOPE クライアントをインストールします。

主な利用シーン

- 管理者がまとめてインストールする場合
- 各デバイスを使用する人や部署が決まっていない場合

カスタムインストール

デバイスごとに異なる URL (登録キー) を用いて、LANSCOPE クライアントをインストールします。インストールが完了すると事前に登録した情報とデバイスが結びます。

主な利用シーン

- デバイス使用者にインストールしてもらった場合
- 各デバイスを使用する人や部署が決まっている場合

4. [一括インポート追加] をクリックします。



5. インポートデータ（CSV ファイル）を作成します。



(1) [テンプレートのダウンロード] をクリックし、[Shift-JIS] または [UTF-8] をクリックします。

→ 選択したエンコードでインポートデータのひな型がダウンロードされます。

(2) CSV ファイルを編集します。

項目	値
OS タイプ	対象デバイスの OS
デバイス管理名	デバイスを特定できる任意のデバイス管理名
送信先メールアドレス	デバイスのメールアドレス 管理コンソールからインストールの手順と URL をデバイスにメール通知するときに必要です。
デバイスグループ階層 1~5	所属するデバイスグループ 事前に設定しておいたグループを指定します。
使用者名	デバイスを特定できる任意の使用者名

詳細は、[インポートデータの作成方法] をクリックしてください。

6. [ファイルを選択] をクリックし、作成したインポートファイルを選択します。

ファイルの内容が正しく読み込まれない場合は、エンコードを確認します。



7. [自動選択] をクリックします。



→ 「関連づける列名」が自動的に選択されます。

「項目名」と「ファイルの列名」の項目が一致していないと自動的に選択されません。その場合は、対応する項目を1つずつ紐づけます。

8. プレビューを確認し、[インポート] をクリックします。



→ 「インポートが完了しました。」と表示されたら、デバイスの追加が完了します。



[インストール待ちデバイス一覧] をクリックすると、追加したデバイスの情報を確認できます。

3-4 インストール手順と URL を確認する

必須

LANSCOPE クライアントのインストール手順と、インストールに必要な URL を確認します。

ステップ：

1. [インストール手順と URL を確認する](#)
2. [メールで通知する](#)

ステップ 1： インストール手順と URL を確認する

1. [リスト] の [デバイス] をクリックします。



2. [インストール待ちデバイス] をクリックします。

管理	デバイスグループ	デバイス管理名	使用者名	OSタイプ	電話番号	デバイスステータス
<input type="checkbox"/>	総務課	SC-09D_0000000014	江藤 花子	Android	090xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	総務課	hammerhead_0000000059	六角 富夫	Android	090xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業1課	iPhone_000000028	飯田 育三	iOS	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	人事課	N-04C_0000000020	江村 太郎	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業部	EB-A71GJ_0000000019	橋中 栄一郎	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業部	L-22D_0000000016	内田 健太	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業1課	404KC_0000000023	中田 真由美	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業1課	picasso_aapoustjp_00000000...	橋 秀雄	Android	090xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	総務課	iPhone_000000026	森 太郎	iOS	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業1課	iPhone_000000029	別所 有郎	iOS	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業1課	Surface Pro 5_0000000044	吉田 磨平	Windows	090xxxxxxxx	ノート
<input type="checkbox"/>	営業1課	Surface Pro 5_0000000045	加藤 信也	Windows	090xxxxxxxx	ノート
<input type="checkbox"/>	営業1課	404KC_0000000023	石井 健二	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業2課	404KC_0000000018	平尾 晋作	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業2課	404KC_0000000007	佐藤 理恵子	Android	080xxxxxxxx	スマートフォン
<input type="checkbox"/>	営業部	iPhone_000000020	伊藤 拓	iOS	080xxxxxxxx	スマートフォン

→ 管理対象デバイスの情報を追加したあと、MDM 構成プロファイルがインストールされていないデバイスが表示されます。

3. 対象デバイスをクリックします。

<input type="checkbox"/>	↑ 管理	OSタイプ	デバイスグループ	デバイス管理名	送信先メールアドレス	送信日時	使用者の総
<input type="checkbox"/>	59	Windows	ネットワーク全体	Surface_3_0000000054	ai.yamamoto@mot.co.jp		
<input type="checkbox"/>	60	iOS	ネットワーク全体	iPhone_0000000034	ken.yoshida@mot.co.jp		
<input type="checkbox"/>	61	Android	ネットワーク全体	F11_0000000009	taro.tanaka@mot.co.jp		
<input type="checkbox"/>	62	macOS	ネットワーク全体	MacBook_0000000060	aki.ito@mot.co.jp		

4. 手順とインストール URL/デバイス登録 URL を確認します。

対象デバイスに応じて、内容が切り替わります。



◀ ▶ をクリックすると、前後のデバイス情報に切り替わります。

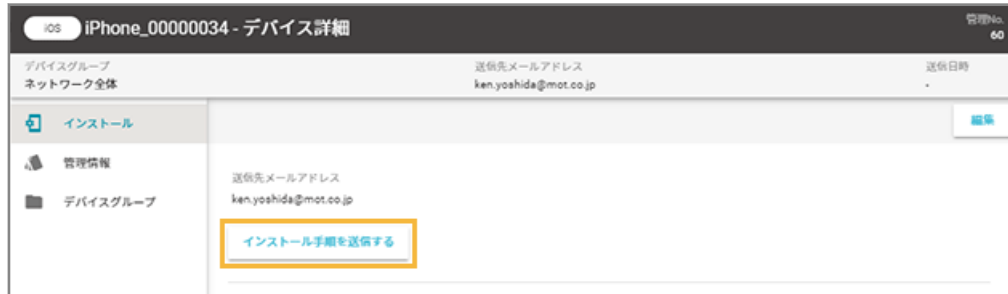
管理者が LANSCOPE クライアントをインストールするなど、手元にデバイスがある場合は、画面に表示されている QR コードを読み取ってアクセスできます。

ステップ 2： メールで通知する

各デバイスにインストール手順と、インストールに必要な URL をメールで通知します。

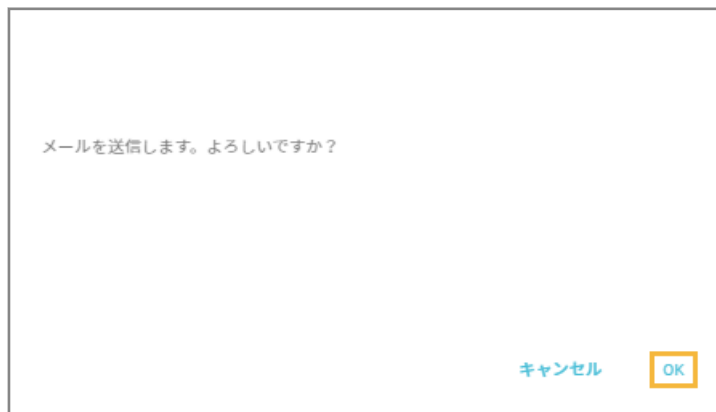
1 台ずつ通知する

1. **【インストール手順を送信する】をクリックします。**



→ 確認ダイアログが表示されます。

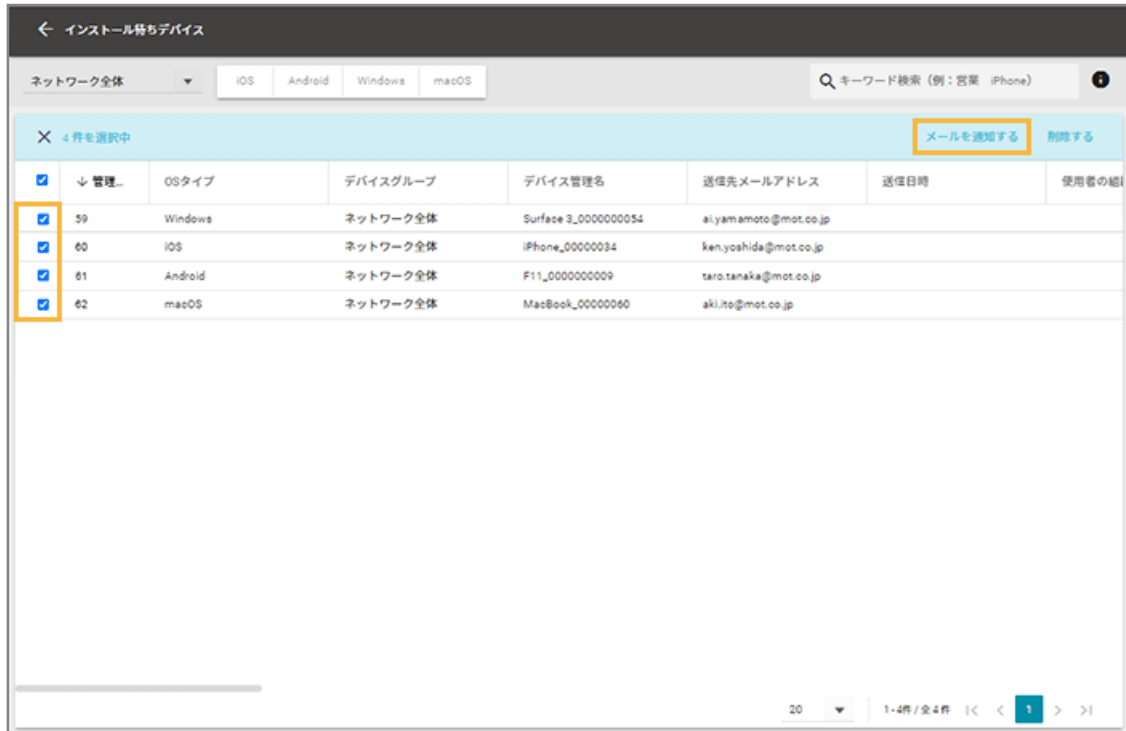
2. **【OK】をクリックします。**



一括で通知する

複数デバイスに一括でメールを通知します。

1. **「デバイス詳細」画面を閉じます。**
→ 「インストール待ちデバイス」画面に戻ります。
2. **デバイスをチェックし、【メールを通知する】をクリックします。**



→ 確認ダイアログが表示されます。

3. [OK] をクリックします。



3-5 デバイスに LANSCOPE クライアントをインストールする

必須

デバイスごとに LANSCOPE クライアントをインストールします。

注意

- カスタムインストールは、デバイスごとに専用の URL を利用します。そのため、一度 LANSCOPE Client をインストールした URL を利用して、再度インストールできません。
- LANSCOPE Client をインストールする前に、「インストール待ちデバイス」画面からデバイス情報を削除した場合、削除したデバイス情報の URL は利用できません。

ステップ：

1. [LANSCOPE Client をインストールする](#)
2. [LANSCOPE Client を登録する](#)

ステップ 1： LANSCOPE Client をインストールする

機種や OS バージョンにより、画面や手順が異なる場合があります。

1. **LANSCOPE Client のインストール URL にアクセスします。**
→ Google Play ストアの LANSCOPE Client の画面が表示されます。
2. **【インストール】をタップします。**



→ Google アカウントの入力を求められた場合は、Google アカウントを入力します。

ホーム画面に「LANSCOPE Client」が表示されます。

ステップ 2： LANSCOPE Client を登録する

機種や OS バージョンにより、画面や手順が異なる場合があります。

Android 14 以上の場合

ここでは、Android 14 を例に説明します。

1. **デバイス登録 URL にアクセスします。**
2. **【同意する】をタップします。**



3. [設定する] をタップします。



4. 次の情報へのアクセス確認で、すべて [許可] をタップします。

- 通話履歴
- 電話
- 連絡先

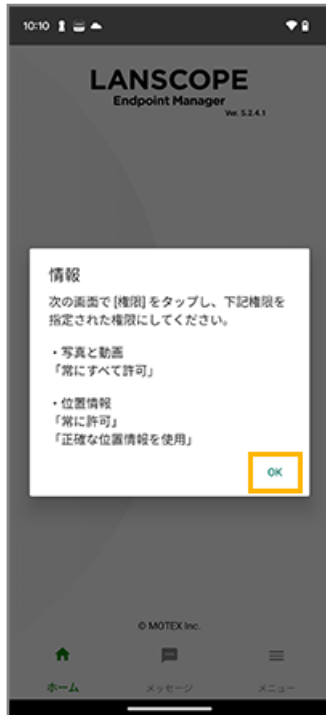
- Bluetooth
- 通知



5. [設定する] をタップします。



6. [OK] をタップします。



7. [権限] をタップします。



8. [位置情報] をタップします。



9. [常に許可] をタップします。

[正確な位置情報を使用] がオフになっている場合、オンにします。



10. [写真と動画] をタップします。



11. [常にすべて許可] をタップします。

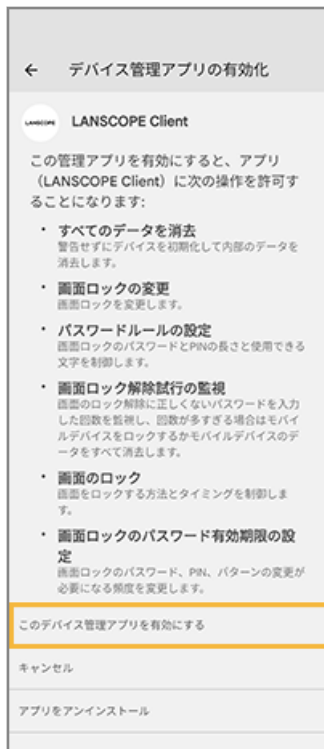


→ 登録結果のメッセージが表示されます。

12. [閉じる] をタップします。



13. [このデバイス管理アプリを有効にする] をタップします。



14. [使用履歴へのアクセス] をタップします。



15. [LANSCOPE Client] をタップし、[使用状況へのアクセスを許可] をオンにします。



16. [ユーザー補助] をタップします。



17. [LANSCOPE Client サービスを使用] をオンにします。



18. [許可] をタップします。



19. [電池の最適化 例外設定] をタップし、[許可] をタップします。



20. 必要な設定がすべて「有効」になっていることを確認し、アプリを閉じます。

無効になっている設定がある場合は、項目をタップして有効に設定します。



表示される項目は、管理コンソールの設定、デバイスの OS バージョンにより異なります。

デバイス管理者

すべてのデバイスに表示されます。

使用履歴へのアクセス

すべてのデバイスに表示されます。

ユーザー補助

次のいずれかにあてはまるデバイスに表示されます。

- Android 8 以上
- Android 7 以上で、管理コンソールの [ルール] > [デバイス設定] > [基本設定] で [マルチユーザー機能の利用を禁止する] を設定している

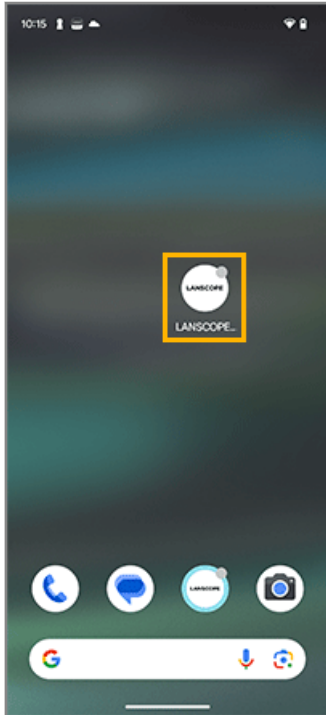
アクセス設定

すべてのデバイスに表示されます。

電池の最適化 例外設定

すべてのデバイスに表示されます。

21. ホーム画面の [LANSCOPE Free] をタップします。



22. バージョン情報に「会社名」「管理 No.」が表示されていることを確認します。



→ LANSCOPE Client の登録が完了します。

Android 10 以上 Android 14 未満の場合

ここでは、Android 11 を例に説明します。

1. デバイス登録 URL にアクセスします。

2. [同意する] をタップします。



3. [設定する] をタップします。



4. 次の情報へのアクセス確認で、すべて [許可] をタップします。

- ストレージ
- 通話履歴

- 電話
- 連絡先



5. [設定する] をタップします。



6. [OK] をタップします。



7. [権限] をタップします。



8. [位置情報] をタップします。



9. [常に許可] をタップします。

Android 12 以上の場合

[正確な位置情報を使用] がオフになっている場合、オンにします。



Android 11/10 の場合



→ 登録結果のメッセージが表示されます。

10. [閉じる] をタップします。



11. [このデバイス管理アプリを有効にする] をタップします。



12. [使用履歴へのアクセス] をタップします。



13. [LANSOPE Client] をタップし、[使用状況へのアクセスを許可] をオンにします。



14. [ユーザー補助] をタップします。



15. [LANSCOPE Client サービスを使用] をオンにします。



16. [許可] をタップします。



17. [電池の最適化 例外設定] をタップし、[許可] をタップします。



18. 必要な設定がすべて「有効」になっていることを確認し、アプリを閉じます。

無効になっている設定がある場合は、項目をタップして有効に設定します。



表示される項目は、管理コンソールの設定、デバイスの OS バージョンにより異なります。

デバイス管理者

すべてのデバイスに表示されます。

使用履歴へのアクセス

すべてのデバイスに表示されます。

ユーザー補助

次のいずれかにあてはまるデバイスに表示されます。

- Android 8 以上
- Android 7 以上で、管理コンソールの [ルール] > [デバイス設定] > [基本設定] で [マルチユーザー機能の利用を禁止する] を設定している

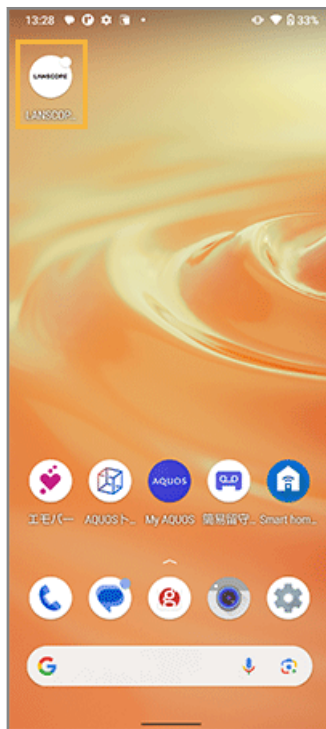
アクセス設定

すべてのデバイスに表示されます。

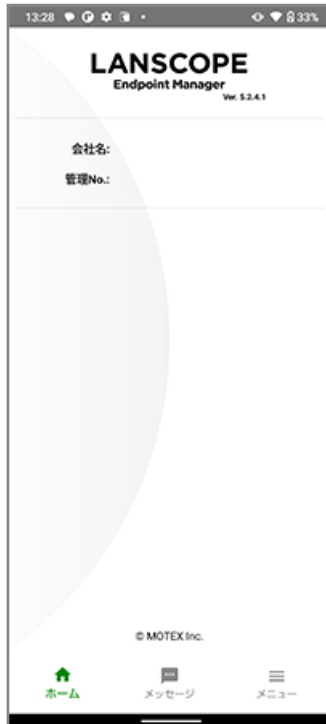
電池の最適化 例外設定

すべてのデバイスに表示されます。

19. ホーム画面の [LANSCOPE Free] をタップします。



20. バージョン情報に「会社名」「管理 No.」が表示されていることを確認します。

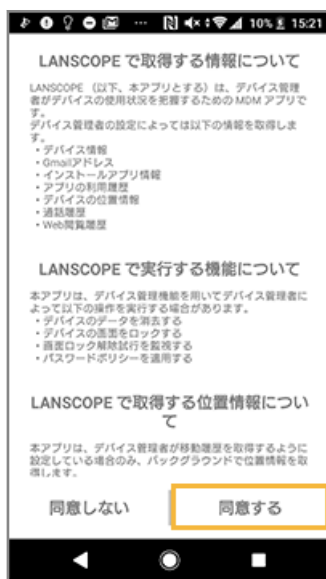


→ LANSCOPE Client の登録が完了します。

Android 10 未満の場合

ここでは、Android 8 を例に説明します。

1. デバイス登録 URL にアクセスします。
2. [同意する] をタップします。



3. [設定する] をタップします。



4. 次の情報へのアクセス確認で、すべて [許可] をタップします。

- ストレージ
- 電話
- 連絡先
- 位置情報

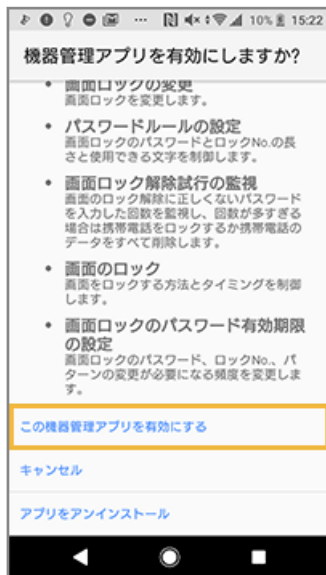


→ 登録結果のメッセージが表示されます。

5. [閉じる] をタップします。



6. 「この機器管理アプリを有効にする」をタップします。



7. 「使用履歴へのアクセス」をタップします。



8. [LANSCOPE Client] をタップし、[使用状況へのアクセスを許可] をオンにします。



9. [ユーザー補助] をタップします。



10. [LANSCOPE Client サービス] をタップします。



11. LANSCOPE Client サービスをオンにし、[OK] をタップします。



12. [許可] をタップします。



13. [電池の最適化 例外設定] をタップし、[許可] をタップします。



14. 必要な設定がすべて「有効」になっていることを確認し、アプリを閉じます。

無効になっている設定がある場合は、項目をタップして有効に設定します。



表示される項目は、管理コンソールの設定、デバイスの OS バージョンにより異なります。

デバイス管理者

すべてのデバイスに表示されます。

使用履歴へのアクセス

すべてのデバイスに表示されます。

ユーザー補助

次のいずれかにあてはまるデバイスに表示されます。

- Android 8 以上

- Android 7 以上で、管理コンソールの [ルール] > [デバイス設定] > [基本設定] で [マルチユーザー機能の利用を禁止する] を設定している

アクセス設定

すべてのデバイスに表示されます。

電池の最適化 例外設定

すべてのデバイスに表示されます。

15. ホーム画面の [LANSCOPE Free] をタップします。



16. バージョン情報に「会社名」「管理 No.」が表示されていることを確認します。



→ LANSCOPE Client の登録が完了します。

こんなときは

- [LANSCOPE Client を更新する](#)

デバイス側の Google Play ストアから、LANSCOPE Client の最新バージョンに更新します。

- [機種変更などでデバイスが変更になった場合](#)

機種変更などでデバイスが変更となる場合の対応方法について説明します。

- [トラブルシューティング](#)

トラブル発生時の対応方法について説明します。

LANSCOPE Client を更新する

デバイス側の Google Play ストアから、LANSCOPE Client の最新バージョンに更新します。

1. **Google Play ストアアプリを起動します。**
2. **【マイアプリ&ゲーム】をタップします。**
3. **「LANSCOPE Client」の【更新】をタップします。**
4. **更新完了後、ホーム画面の【LANSCOPE Client】をタップします。**
5. **最新バージョンになっていることを確認します。**

機種変更などでデバイスが変更になった場合

機種変更などでデバイスが変更となる場合の対応方法について説明します。

ステップ：

1. [古いデバイスの情報を削除する](#)
2. [古いデバイスから LANSCOPE クライアントをアンインストールする](#)
3. [新しいデバイスを登録する](#)

ステップ 1： 古いデバイスの情報を削除する

ライセンスに余剰がない場合、古いデバイスの情報を削除し、ライセンスを確保します。余剰ライセンスがある場合は、デバイス情報を削除せずに新しいデバイスを登録できます。

デバイス情報の削除方法については、An-345「Free 利用ガイド」を参照してください。

ステップ 2： 古いデバイスから LANSCOPE クライアントをアンインストールする

アンインストール方法については、An-337「Free アンインストールガイド」を参照してください。

ステップ 3： 新しいデバイスを登録する

本ガイドを参照し、新しいデバイスに LANSCOPE クライアントをインストールして登録します。

トラブルシューティング

トラブル発生時の対応方法について説明します。

LANSCOPE Client インストール時のエラー

エラーメッセージ	補足	対応方法
登録に失敗しました。	通信環境の良い場所で再度登録してください。	通信環境が不安定になっている可能性があります。通信環境を確認してください。
	登録用 URL が正しくありません。	カスタムインストールで、すでに他のデバイスが同じ URL で登録されていないか確認してください。
登録に失敗しました。 しばらく経ってから再度登録してください。	ライセンスが不足している可能性があります。	ライセンスが不足している場合は、ライセンスを追加で購入するか、不要なデバイス情報を管理コンソールから削除してください。 それでも解決しない場合、弊社までお問い合わせください。
message:MissingAuthentication Token		次の可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> 登録手順に沿っていない 「LANSCOPE Client を登録する」の開くアプリで、「LANSCOPE Client」を選択したかどうかを確認してください。 QR コード読み取りアプリに問題がある QR コード読み取りアプリによっては、URL をタップしたときに「LANSCOPE Client」を選択できないことがあります。その場合、別の QR コード読み取りアプリを使用してください。

MOTEX

© MOTEX Inc.